

我ら50期 ここにあり

重大な決断をするとき

朝起きたときにその人のことを考えていたら、ちょっと好きなんじゃないかな。夜じゃなくて、暗いときじゃなくて、明るい朝に今どうしてるかなとか元気かなとか朝思ったら結構好きなんじゃないかな。夜はダメですよ、判断力が鈍るから。重大な決断をしないといけないとき、寝ないで考えましたとか三日三晩悩んだ末に出た結論ですというのは感情的にはくるけど、そもそも寝ないと判断できないし、健康じゃないし、暗いし、冷静な判断ができることが多いんです。だから、いつもよりちゃんと寝て、心も身体も健康な状態で明るい昼間に考えなさい。健康じゃないとダメ。大切な判断が狂うから。大切なことはよく寝て、朝に判断しましょう。



高校へ行く意味

中学生から高校生にかけての時期は、自我に目覚め、個性が伸長され、人格が形成されていく大切な時期です。みなさんは、この時期に、自分のことや家族、友だちとの関係などについて考え、人間として自分はどうあるべきなのか、どう生きるべきなのかについて思い悩み、るべき理想像を描き、その中に自分を生かそうとします。また、時として、理想と現実のギャップの大きさに悩み、親や先生に反発したり、挫折感を抱いたりすることもあります。みなさんが、先生や友だちとの出会いを通して、人間としての在り方生き方を考え模索する時期を過ごすところが高校です。そして、高校時代に育んだ人間としての在り方生き方についての基本的な姿勢が、あなたのその後の生き方を大きく方向付けしていくことになります。高校は、社会の在り方や自分の将来の生き方について考え、判断力や行動力を身に付けることができる場であり、その中で、みなさん自身が人生観や価値観を築いていくところです。



高校生活

高等教育は、中学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、普通教育及び専門教育が行われます。高校生活の中心となるものは、教科の学習ですが、発展的な内容になります。また、専門的な教科もあるので、自分の興味・関心や適性などについて普段からよく考えておくとともに、予習、復習など自主的に学習する態度を身に付けておくことが必要です。さらに、部活動に参加して、友だちとともに青春を燃焼させることも素晴らしいことです。部活動を通して、授業の中では得られない感動や貴重な体験を得ることができます。高校では、中学校までとは違い、より広い地域の新しいたくさんの友達や、新しい先生との出会いがあります。それらの新たな出会いを通して、みなさんは、自分を磨き、かけがえのない自分を見つけることができます。高校生活は、みなさんが勉学や部活動などに取り組み、新しい友だちとの語らいを通して、自分が将来何をしたいのか、どう生きるべきなのかなどについて考えを深め、人生の基本的な姿勢と方向を確立していくために、極めて重要な意義を持っています。みなさんが将来の人生をより豊かにするためにも、目的意識をしっかりと持って高校に進学し、一人一人が充実した高校生活を送ることを願っています。



宿題のある意味

学校で勉強しているのに、家でもやる必要があるのか。そこまで勉強好きじゃないのに。宿題は基本的にやりたくないよね。中には勉強大好きで難題をクリアしていくことが気持ちいいという人もいるとは思うけど、勉強はだいたいの人は嫌いだし、宿題はできればやりたくないけど、大人になるとやりたくないこともやらなきゃいけなくなるんです。その訓練ととらえることはできると思います。本当にやりたいことだけやっていて生きていけるならこんな素晴らしいことはないけど、やりたくないことをやらなかったり、好きなことばっかりやっていると世の中では通用しなくなるし、自分が思う方向に進みにくくなります。自分のできないことや嫌いなことをできるようになるために、陰で練習することや人が見ていないところで努力することが必要だと思います。

